

1 教科について

国語

※ 全国学力・学習状況調査については、調査を実施した場合、調査実施後、改善計画に付け加える。

昨年度の課題

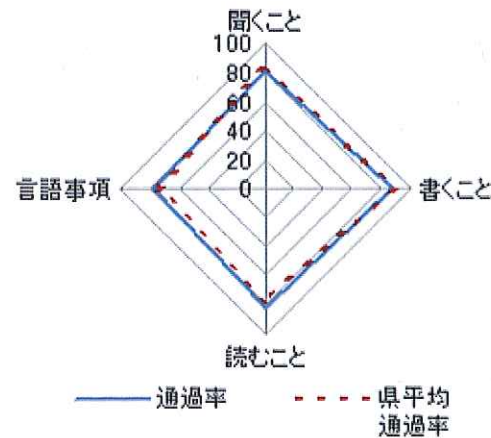
- ① 「読むこと」において、段落相互の関係を考え、文章を正しく読むことの正答率が低い。
- ② 「聞くこと」において、話の要点を捉えて、正しく聞き取ることの正答率が低い。
- ③ 「言語事項」において、3・4学年の漢字、ローマ字の読み書きの正答率が低く、無解答率が高い。

昨年度の課題を受けて
具体的に取組んだ事項

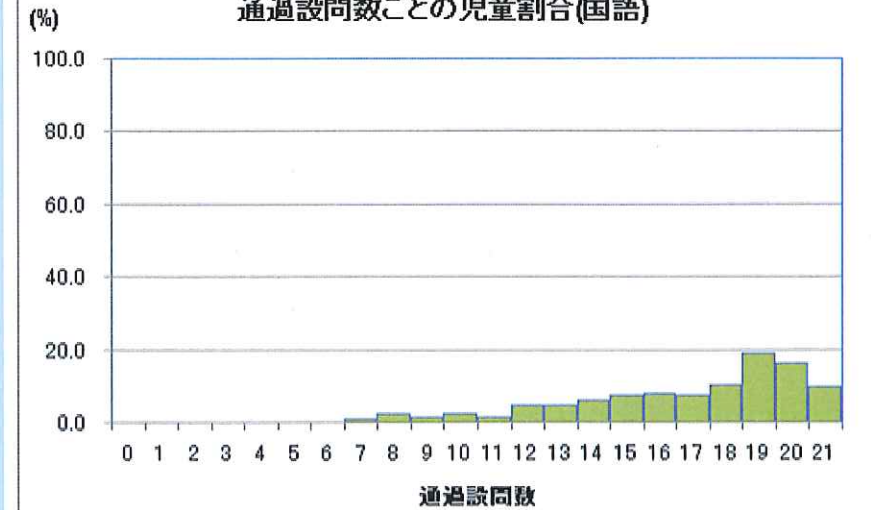
- ① 正しく音読することを意識させ、接続語のはたらきをとらえさせた。段落の構成と内容を丁寧に読み取る指導を行い、要旨と要点を読み取らせる指導を繰り返し行った。
- ② 学習活動において、教師が児童に話すとき、順序や要点を整理して話すようにした。
- ③ 漢字の成り立ちや熟語の意味を関連させて理解させるようにした。学習した漢字を意識して使わせるようにした。

「基礎・基本」定着状況調査通過率 学校平均 80.6% 県平均 78.5%

領域別平均通過率(国語)



通過設問数ごとの児童割合(国語)



重点課題 ◎:「基礎・基本」定着状況調査
◇: 全国学力・学習状況調査

- ◎ 「聞くこと」において、自分が聞いておかなければならないことは何かということ意識し、話の要点を正しく聞き取ることの正答率が低い。
- ◎ 「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化について、叙述を基に想像して読むことの正答率が低い。
- ◎ 「言語事項」において、3・4年の漢字、ローマ字の書きの通過率が低く、無回答率が高い。

重点課題に対応した改善する指導内容及び方法

- ① 教師が児童に話すときには、順序や要点を整理して話す。また、話した内容を問うことで、大事なことは何かという観点を児童に絶えず意識させる。
- ② 登場人物の行動や会話、情景などに着目させ、人物の気持ちの変化を、根拠を明らかにしながら読ませる。
- ③ 国語科では、漢字の成り立ちや熟語の意味を関連させて理解させる。全学年で、他教科や日記などでも、学習した漢字やローマ字を意識して使わせる。

来年度の目標値

○国語の平均通過率を85%以上にする。

指導方法等の改善計画について

算 数

※ 全国学力・学習状況調査については、調査を実施した場合、調査実施後、改善計画に付け加える。

昨年度の課題

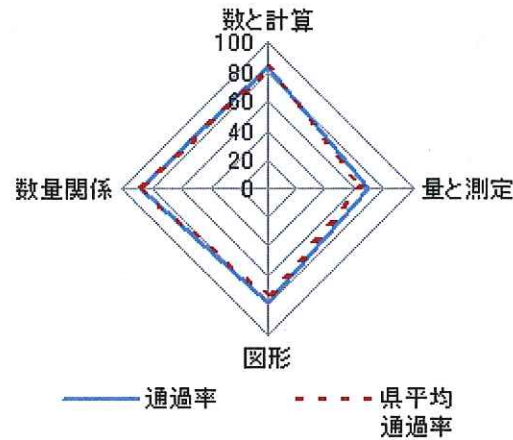
- ◎ 「数量関係」において、事象を1つの式にまとめて表すことへの理解が不十分である。
- ◎ 「数と計算」において、数の意味と表し方の理解や乗法・除法の性質を用いた計算の考え方が不十分である。

昨年度の課題を受けて 具体的に取り組んだ事項

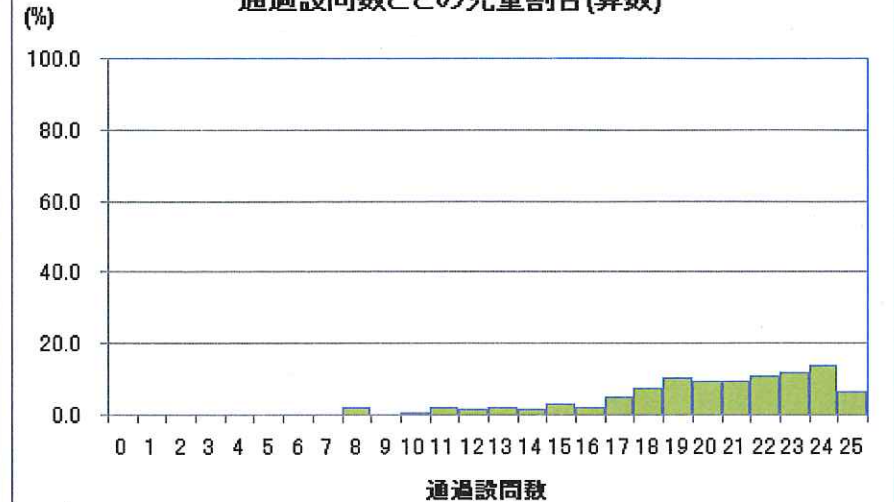
- ① 式の意味を読む活動を取り入れたり、「言葉の式」に表したりするとともに、()を使う問題に取り組んだ。
- ② 計算方法の習熟にとどまらず、意味や考え方を丁寧に指導した。また、計算力が不十分な児童の個別指導に取り組んだ。

「基礎・基本」定着状況調査通過率 学校平均 **80.1%** 県平均 **77.8%**

領域別平均通過率(算数)



通過設問数ごとの児童割合(算数)



重点課題 ◎: 「基礎・基本」定着状況調査 ◇: 全国学力・学習状況調査

- ◎ 「数と計算」において、単位分数の幾つ分という表し方の理解が不十分である。
- ◎ 「量と測定」において、1kgの重さのものを理解することが不十分である。
- ◎ 「量と測定」において、長方形を組み合わせた図形の面積を求めるための、見方や考え方が不十分である。

重点課題に対応した改善する指導内容及び方法

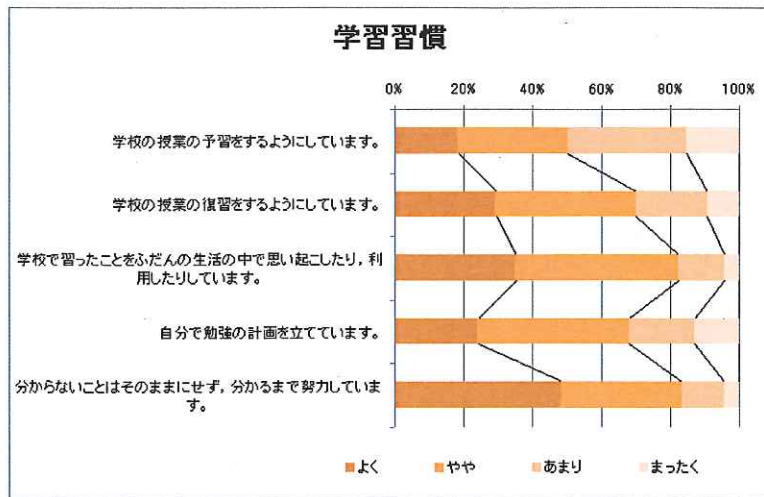
- ① 数量を数直線や図に表すことで、数量の大きさをとらえられるようにする。
- ② 様々な単位と測定の学習において、実際にその量のものをさがしたり、測りとったりする活動を取り入れることで、基本的な量の大きさを実感的に理解させる。
- ③ 今まで学習したことを活用して面積を求める問題に取り組んだり、既習事項を基に、筋道を立てて説明させたりする。

来年度の目標値

○平均通過率を85%以上にする。

2 質問紙調査（「基礎・基本」定着状況調査：学校質問紙調査，児童質問紙調査）（全国学力・学習状況調査：学校質問紙，児童質問紙）

(1) 生活・学習

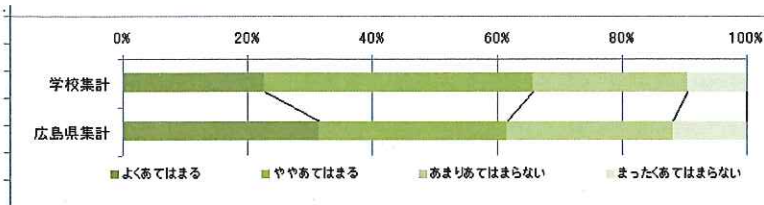


改善したい点 (◎「基礎・基本」, ◇「全国」)	今後の具体的な取組の内容
◎ 家庭学習を充実させ、予習復習の習慣をつける。	○ 家庭学習の手引きを使って、家庭学習の仕方について指導徹底を図る。また、家庭学習ができた喜びや達成感を味わわせるようにする。
◎ 自分の考えや意見を、具体的な例をあげ順序に気をつけながら話す力をつける。	○ 様々な教科において自分の考えを述べるときには根拠を明らかにして話すように指導する。話すことをノートに箇条書きでメモさせるなど、話したいことを整理させる。

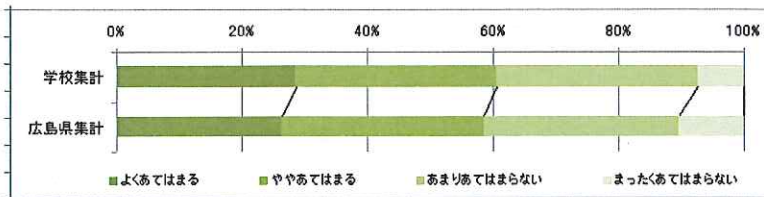
来年度の目標値	・家庭学習の手引きを使って指導を充実させ、学習習慣についての項目で「あてはまる」を選択する児童の割合が85%以上になるようにする。
---------	---

(2) 教科

国語の授業では、分からない言葉や漢字は辞書を使って調べています。



算数の授業では、理由を挙げて自分の考え方や解き方を説明しています。



	児童の回答と学校の指導についての課題 (◎「基礎・基本」, ◇「全国」)	授業改善の方向性や具体的な取組
語	◎ 国語の授業では、分からない言葉や漢字を辞書を使って調べる児童が少ない。 ◎ メモを取りながら聞くことをあまり意識していない。	○ 児童一人一人に辞書を持たせ、分からない言葉に出会ったときにはすぐ調べられるようにする。国語科の学習以外の教科でも、辞書を活用させることで基本的な語句を理解させ、言葉を増やす。 ○ 教師や児童が話した内容を問う機会を増やすことで、大事なことを意識して聞く態度を育てる。また、朝学習を活用して、聞き取りの問題にも取り組ませる。
算数	◎ 算数の授業において、ともなって変わる2つの数や量の関係を調べるときに、まず2つの数や量を順序よく表に表すことをあまり意識していない。 ◎ 算数の授業において、理由を挙げて自分の考え方や解き方を説明することが苦手である。	○ 2つの量の関係だけでなく、様々な問題において表や図に整理することで、きまりを見つけたり、的確に問題を把握したりするようにさせる。 ○ 自分の考えの説明をノートに箇条書きで書かせ、整理させる。また、自分の考えを説明するときの形態をペアやグループにするなど工夫をし、一人一人の説明する機会を増やす。

来年度の目標値	・全ての項目で「あてはまる」を選択する児童の割合が70%以上になるようにする。
---------	---

指導改善のための実施スケジュール

	～8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	
	Plan		Do			Check	検証	Action	Check	
	結果の分析・H22の改善計画の見直し H23の改善計画の実施						定着状況テスト	次年度の計画		
【教科】										
国語	「パネル討論をしよう。」～意見と理由を聞き取り、メモさせる。それぞれの立場や意図を明確にして討論させる。	「注文の多い料理店」～場面の移り変わりや情景を叙述を基に想像しながら読ませる	「森林のおくりもの」～要旨と要点のつかみ方を指導する。段落相互の関係をとらえさせる	「大造じいさんとがめん」～登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえさせる。	「伝えよう、委員会活動」～目的にあわせて書くことを選び、図表やグラフを用いるなどして、自分の考えが伝わるように書かせる。	「手塚治虫」～伝記を読んで人物の考えや生き方について考え、自分のこれからの生き方について考えを書かせる。		学習満足度調査 成果とまとめ 次年度計画	○実態把握	
	思考力・表現力を伸ばす授業実践 情報を取り出したり・分析したりする指導、実生活と結びつけた指導、思考・表現の時間の確保									
算数	「単位量あたりの大きさ」～2つの量を数直線を使って比べたり表したりできるようにする。単元末には、定着を図る時間を設定する。	「変わり方を調べよう」～表を用いて、伴って変わる2つの数量の関係を考えられるようにする。単元末には、定着を図る時間を設定する	「図形の面積」～自分の考えを作図や折り紙の操作活動を取り入れて説明できるようにする。単元末には、定着を図る時間を設定する	「分数」～自分の考えを図、言葉、数値を使って表現できるようにする。単元末には、定着を図る時間を設定する。	「割合とグラフ」～自分の考えをテープ図、数直線を使って表現できるようにする。単元末には、定着を図る時間を設定する。	「5年のまとめ」～1年間の学習をふりかえり、数量関係のきまりやかさの単位の習熟を図る。単元末には、定着を図る時間を設定する。		学習満足度調査 成果とまとめ 次年度計画	○年間計画の具体化	
	思考力・表現力を伸ばす授業実践 自分の考えを算数用語を使って表現させる指導（ペアトーク・グループ討議）、学習と日常生活の事象をつなげる									
【生活・学習】										
	基礎的学力が定着していない児童に対して計画的な個別指導								学習満足度調査	○実態把握
	やまびこ日記の指導…【文章構成の意識、漢字、テーマの設定（紹介文、報告文、手紙文、結論先行、ローマ字 など）】								成果とまとめ	○年間計画の具体化
	読書タイムの充実（掃除の後10分間読書で読書週間をつける。）								次年度計画	
	家庭学習の充実（家庭学習の手引きを使っての指導、計画的な予習・復習、自主学习ノートの活用）									
	朝学習・言語活動の実施（計画的な既習事項の復習、言語活動の実施）									